

1.計画名称

茅野市公共施設等総合管理計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	公共施設維持管理においては「保全指針」に基づき概ね順調に取り組んでおり、長寿命化に関しても優先順位の中で適切に改修等が実施されている。 行財政改革基本方針に基づき「行財政改革プラン2023」を策定し、特に優先して改革を進めるべき「優先改革事項」を定め、「改革の方向性」を示し、短期及び中長期的取組を整理し取組を加速させることとした。その中で「公共施設の再編」の項目において、具体的な事業を示し、進捗管理を開始した。
今後の重点化施策番号	3	説明	第6次茅野市総合計画の確実な推進を図るためには、行財政改革は最重要手段であり、当計画の推進を重点化することは必須である。行財政改革基本方針等の推進及び当計画中間見直し時期(R7)に向けた短期的な取組みとして維持、統合、再利用、売却等の実施又は方向付けをし、計画期間内に保全指針・長寿命化と整合をはかり、効率的に実行する必要がある。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	安全・安心の確保	おおむね順調	・所管課を対象に、日常的な定期点検実施の説明会を開催した。公共施設保全指針に沿って優先度設定を行い、計画的な施設の保全を実施し、安全で安心して利用できる状態を維持するとともに、長寿命化やライフサイクルコストの削減を図る。 ・総括評価としては、保全指針に基づいて順調に取り組んでいる。	公共施設は、安全で安心して利用できる状態を維持する必要があるが、古くなった施設をこれまでどおり維持管理するには、これまで以上の費用が必要となってくる。今までどおりの維持管理を続けると、結果として公共施設の荒廃や事故に繋がり住民の安全や安心が脅かされる。	所管課による点検結果に加え、建築基準法などの法定点検の結果、設備機器の情報を一元的に管理する。また、茅野市公共施設保全指針に沿って優先度設定を行い、計画的な施設の保全を実施し施設維持に努め、安全で安心して利用できる状態を維持する。
2	長寿命化の推進	おおむね順調	・令和5年度は金沢保、玉川保、金沢小の防水や外壁等の改修、高圧受変電設備更新(湖東、金沢、北山小、図書館、中央公民館)、照明LED化(玉川・泉野・ちの・中央・湖東・米沢・豊平・金沢保育園)を実施しました。中央公民館の自家発電設備の故障による更新を行った。 ・総括評価としては、保全指針に基づいて順調に取り組んでいる。	屋根や外壁及び設備機器について優先順位付けを行い実施している。電気や消防系の設備については、施設の機能停止に直結する場合があるため、公共施設再編計画の結果を待てない場合がある。建築改修は方向性が定まっていないうちに施設に長寿命的な改修を行えない状態である。	施設の点検結果により優先度が上位の施設であっても、再編計画による方向性が定まっていないう施設については、積極的な改修(LED化含む)の実施ができないのが現状である。そのようなもどかしい状況を改善するため、施設の物理的な残存寿命と需要が比較できる資料「(仮称)施設カルテ」を作成し、再編計画の推進の足掛かりとしたい。
3	施設総量の削減	やや遅れている	公共施設の廃止や譲渡により計画策定時の2018年から2022年末までに合計2,417㎡の面積を削減した。しかし、令和5年度に、ベルビア1階のアルピコ交通が所有していた2077㎡もの床の譲渡を受けることになってしまった。	令和5年度は、行財政改革により、すずらんの湯、環境館を廃止した。また、泉野診療所、市営プール、夢科有機センター、千駄刈自然学校などの閉鎖や廃止が打ち出されている。閉鎖や廃止後も施設の管理は必要のため、施設の譲渡や解体などをスムーズに行う必要がある。	令和2年度末に策定した公共施設再編計画の中で、機能や性能の方向性が譲渡・廃止としている施設については、適切な進捗管理を行っていく。検討している施設は、優先改革事項としているものが多いため、そのスケジュールに沿って方向性を決定する。
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

主な意見		市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		